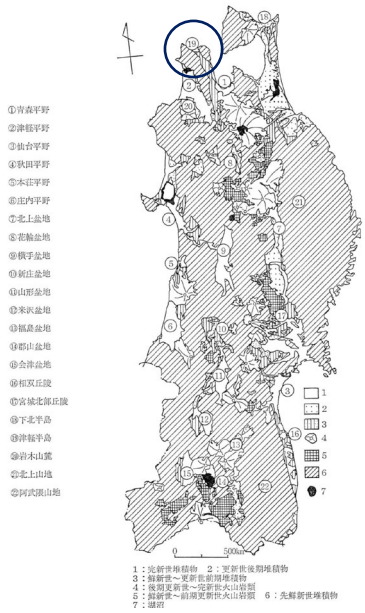
19.津軽半島



地形・地質

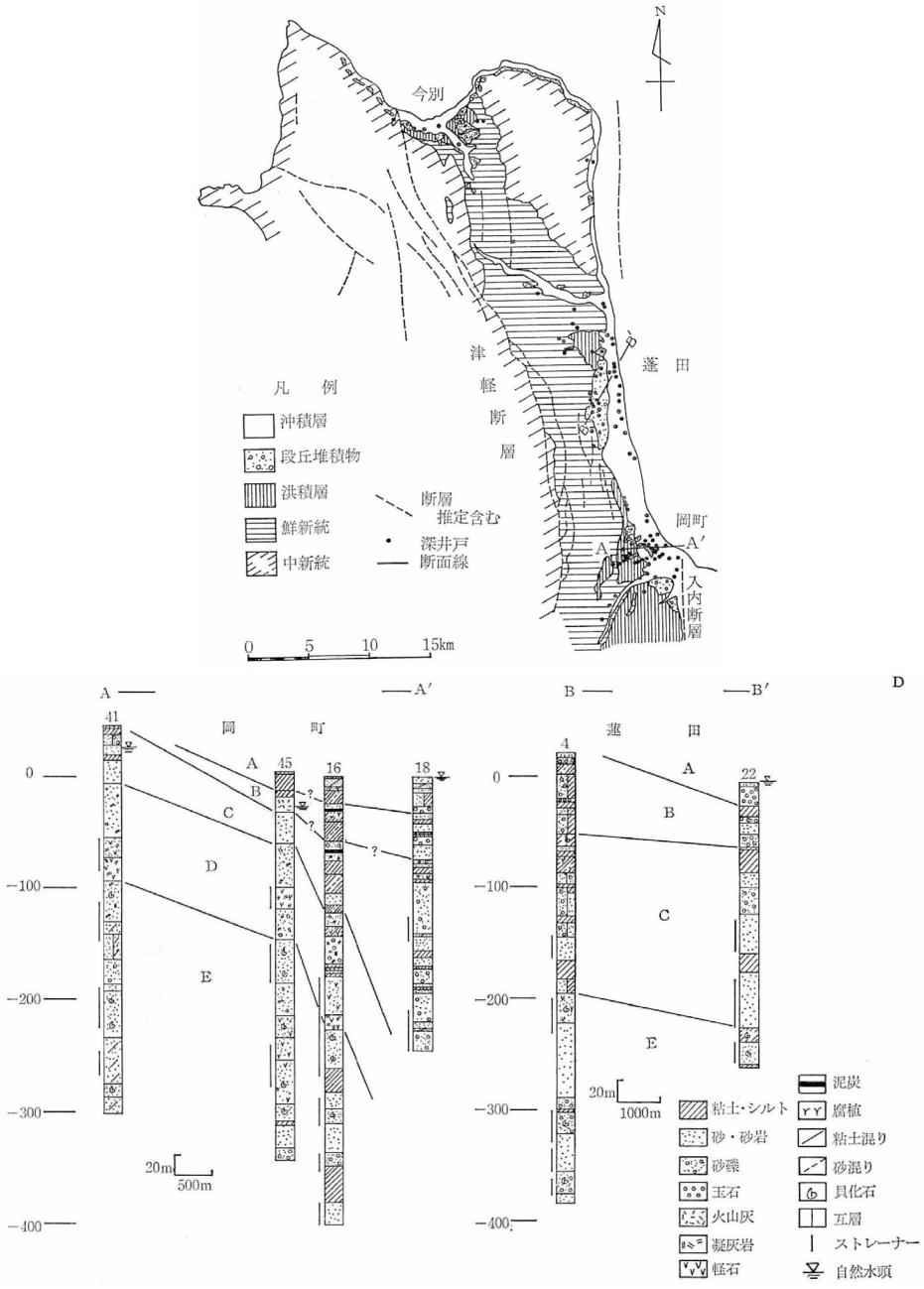
津軽半島は地形的に出羽丘陵の北部延長にあたります。山地の多くは新第三紀の硬堅な火砕岩類で構成された急峻な地形をし、北部から東部の海岸沿いには段丘が発達します。半島の地質はその大部分がグリーンタフの新第三紀層で占められます。

津軽半島の地層層序表

時代および時階			津軽半島北部	津軽半島中・南部	主要岩種	帯水層区分
第四紀	完新世	XIII	河岸・海岸平野堆積物		砂・礫・粘土	A（不圧水）
	更新世	XII	鍋田段丘堆積物	郷沢段丘堆積物	砂・礫・粘土	B（不圧水）
		XI	今別段丘堆積物	玉松段丘堆積物		
		X	大泊段丘堆積物			
		IX				
		VIII	浜名層	岡町層	砂岩・礫岩シルト岩	C（被圧水）
新第三紀	鮮新世	VII	蟹田層	鶴ヶ坂凝灰岩部層	砂岩・泥岩	D（被圧水）
		VI		沢内沢層		E（被圧水）
				六枚橋川層		
				白滝橋層		
	中新世	V	塩越層	不動ノ滝層	泥岩・シルト岩火砕岩	裂か水

地下水

地下水は下部洪積層，上部鮮新世の地層の被圧地下水が主要なもので，ほかにも沖積層中の不圧地下水，中新世火砕岩中の裂か水などが知られています。東部海岸平野の帯水層は A-E の５層に区分でき，C・D・E 層が良質な帯水層を形成します。



津軽半島の地質図と水文地質断面図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）